

除草剤

イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル粒剤

®

サラブレットKAIジャンボ

農林水産省登録 第23339号

(協友アグリ(株)登録)

性状：淡褐色細粒 水溶性パック入り 1パック40g

毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指すという通称)

危険物：非該当

有効年限：5年

包装：(40g×10)×10, 4kg,

4kg×4(受注生産の担い手直送規格)

有効成分：イマゾスルフロン(化管法第1種)・・・2.25%
オキサジクロメホン・・・0.75%
ピラクロニル・・・5.0%

除草剤分類 **2, 30, 14**

サラブレットKAI®は協友アグリ(株)の登録商標です。

特長

○ノビエに安定した効果(2.5葉期まで)と長期残効性を持つ一発処理除草剤です。

○SU抵抗性雑草および多年生難防除雑草まで幅広く優れた効果を示します。

○効果の発現が非常に速い特性があります。温度による効果変動が少ない薬剤です。

○水稲への安全性が高く、移植直後処理も可能です。

適用雑草名及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数	イマゾスル フロンを 含む農薬の 総使用回数	オキサジクロ メホンを 含む農薬の 総使用回数	ピラクロニルを 含む農薬の 総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日 まで	小包装(パッ ク)10個 (400g)	水田に小包装 (パック)の まま投げ 入れる。	1回	2回以内	2回以内	2回以内
直播水稲	水田一年生雑草 及び ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前 まで	小包装(パッ ク)10個 (400g)	水田に小包装 (パック)の まま投げ 入れる。	1回	2回以内	2回以内	2回以内

使用上の注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイは発生前から発生始期まで、コウキヤガラは発生始期までが本剤の散布適期です。
また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当っては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 著しい降雨が予想される場合には、除草効果が低下するおそれがあるので使用を控えてください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田（減水深2 cm／日以上）では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。

安全使用上の注意事項

- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、ぬれた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合、かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。